

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和6年度 第2回「健笑庵のぎ」運営推進会議

対象事業所名：(有) ケアサポートことぶき「健笑庵のぎ」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日：令和6年11月20日(水) 午後2時30分

開催場所：健笑庵のぎ

出席者：7名 《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	知見を有する者	1名
松江市職員	1名	地域代表者(欠席)	0名

【議事・議題】

1. 活動状況

1) 利用状況(令和6年10月現在)

登録者数 (設置基準別) 34名	総合事業通所サービスA(緩和型) 8名 (男性:1名、女性:7名)					
	総合事業通所サービス(従前型) 4名 (男性:1名、女性:3名)					
	地域密着型通所介護 22名 (男性:2名、女性:20名)					
介護度別利用者数	事業該当:1名	要支援1:4名(内、緩和型3名)			要支援2:7名(内、緩和型4名)	
	要介護1:14名	要介護2:8名	要介護3:0名	要介護4:0名	要介護5:0名	
利用回数状況	週1回:12名	週2回:11名	週3回:5名	週4回:1名	週5回:4名	週6回:1名
各月総利用数	5月:324名	6月:321名	7月:322名	8月:337名	9月:322名	10月:347名

2) 活動報告(令和6年5月~10月)

①誕生会(誕生日の一番近いご利用日に実施)

②レクリエーション(季節に合わせたものや、要望に応えたもの)

- ・八雲鯉のぼり見学・テーブルカーリング・テーブルボウリング・テーブルホッケー・七夕飾り作成・七夕祭り・点取りゲーム・ピンポンゲーム・脳トレ・逆さボウリング・体操レクリエーション・カレンダー作り・敬老会・長寿祝い・坊主めくり・運動会・マネーゲーム・音楽レクリエーション

3) 日曜デイサービス

開催月	活動内容	参加人数
5月	宍道湖遊覧船はくちょう号に乗船 第1班	13名
6月	宍道湖遊覧船はくちょう号に乗船 第2班	11名
7月	シンク買物・外食(熊野館) 第1班	11名
	シンク買物・外食(熊野館) 第2班	11名
8月	[夏祭り]:射的や的当てなどのお祭りゲームとお菓子作り 第1班	12名
9月	[夏祭り]:射的や的当てなどのお祭りゲームとお菓子作り 第2班	13名
10月	安来節演芸館で演芸鑑賞と外食 第1班	12名

4) 防災訓練及び活動

実施日	訓練および活動の内容	参加者数(職員)
5月	地震災害について/エレベーター内で地震が起き停電した場合の対処	12名(3名)
6月	火災について/消火器について	15名(5名)
7月	地震災害について/地震発生時の行動	12名(5名)
8月	火災について/住宅火災の実態や火災発生時の手順について	10名(5名)
9月	地震災害について/避難時の注意事項	11名(5名)
10月	火災訓練/火災発生防止	11名(3名)

5) その他

- ・畑・花壇作り：(年中行事)
- ・歌唱活動、脳トレドリル、創作活動、塗り絵、パズル、五目並べ：(毎日)

2. 相談および苦情受付状況・事故報告（令和6年5月～10月）

- 1) 相談苦情事例 *この期間での発生、受付はありません。
- 2) 事故事例 *この期間での発生はありません。
- 3) ヒヤリハット対象事例 *この期間での発生はありません。

3. 研修会等の状況（令和6年5月～10月）

1) 外部研修

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
R6.8.21	松江市地域介護サービス事業者連絡会	1名
R6.8.23	令和6年度第1回松江市介護保険事業者集団指導（WEB参加）	1名
R6.10.24	令和6年度松江市地域包括支援センター 第2回ブロック会議	1名

2) 内部研修

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
R6.5.10	事業所研修会：糖尿病について	4名
R6.5.24	BCP研修	7名
R6.6.10	ヒヤリハットについて	5名
R6.9.4	事業所研修会：ケース検討	4名
R6.10.9	デイサービスにおける接遇について	5名

3) 年間研修計画（R6年度）

実施月	研修項目	内容
4月	コンプライアンスに 関わって	・関係法令改定について・倫理及び法令遵守に関わって ・運営規程の確認
5月	業務継続計画①	業務継続計画の現状と課題、見直しについて
	事業所研修会①	（ケースの状況、通所運営や介護技術等に係るテーマにて研修会を行う） ◎入浴加算の前提となる、入浴に関連した研修を年に1回以上実施する。
6月	業務継続計画②	訓練（シミュレーション）
7月	感染症について①	感染症の状況と対策について
8月	通所介護の課題	サービス事業者連絡会（外部）
	事業所研修会②	
9月	認知症について	認知症の現状と対応について（内部）
10月	苦情対応について	苦情解決研修会（外部）
11月	事業所研修会③	
12月	虐待防止について	虐待防止に係る研修会
1月	感染症について②	感染症の状況と対策について
2月	事業所研修会④	
3月	虐待防止について	虐待防止研修会

4) 職員の資質向上に向けた取り組みの状況

- ① 情報共有の機会の確保：日3回（朝・昼・夕）のミーティングを基本とする。
- ② ケース検討会及び勉強会をも兼ねた事業所研修会の開催：月1回
*入浴に係る研修会（年1回）も兼ねる
- ③ 全社内部研修会：月1回
- ④ その他：虐待防止に係る研修会（年1回）

業務継続計画に関わる研修及び訓練（年1回）

感染症対策に係る研修会及び訓練（年1回）

4. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況（令和6年5月～10月）

*この期間での実績はありません

5. 「日曜デイサービス」の取り組みについて

当事業所では、平成13年の開設以来、「自宅で暮らす」ことを最も重要なポイントとして、通所介護事業に取り組んできました。一般的に通所介護の基本方針は、「利用者が可能な限りそれぞれの居宅でその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるように機能の維持、向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより社会的孤立感の解消や心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るもの」とされています。このことから『健笑庵』では、高齢者の皆様の「生活する意欲」に視点を置き、先ずは暮らしの中で楽しみや目的を持つことが重要と考えてきました。その方法の一つが社会参加の機会です。それが現在も取り組んでいる、月1回の割合で開催する「日曜デイサービス」です。社会参加というと生産活動に係る参加と思いがちですが、『健笑庵』で取り組む高齢の皆様の社会参加とは、地域の催しや景勝地、また美術館や博物館、そしてショッピングセンターやレストランなどの地域の中にある文化、商業施設等へ、出かけ、利用するといった活動をも含めています。以前は皆様ご自身の意思で家族や友人等と何気なく出かけていた場所かと思えます。現在の『健笑庵のぎ』の利用者登録者数：34名（10月現在）。年齢は73歳～96歳、介護度は前述した通りで、介護2までの比較的的身体機能的には自立している方が多い状況にあります。その中で26名の方がほぼ毎回参加されている状況です。参加される理由はその人それぞれではありますが、「内容（行先）が良い」、「外出が好き」、「日頃外出の機会が少ないから」などの意見が聞かれています。このように、好評をいただいている日曜デイサービスでしたが、2020年からの新型コロナウイルス感染症の流行以降は日曜デイサービスの開催を中止したり、外出や外食を自粛したりと十分な企画ができない時期もありました。昨年5月に新型コロナウイルス感染症の取り扱いが変更され、少しずつ市内の感染状況を見ながら内容を拡大してきました。そして、昨年の12月、3年半ぶりによく「忘年会」と称しご希望が多かった外食を再開する事が出来ました。このように「日曜デイサービス」は現在に至っています。今後も高齢の皆様、一人一人の日常の生活において、通所介護ができる役割、「在宅」の可能性を追求し、先ずは生活意欲の向上につながる活動を継続していきたいと考えています。

7. 報告に対する意見および要望

<意見・要望>

- ・職員が丁寧な対応で安心しています。[利用者家族]
- ・全国的にも介護職の給与水準が低いと聞いています。そんな中で使命感を持って取り組んでいる姿勢に感心します。 [利用者家族]
- ・長いこと通わせてもらって。こんな所があって、良いと思います。[利用者]
- ・食事は良いと思います。[利用者]
- ・外出に参加させてもらっています。また行きたい所があれば言わせてもらいます。[利用者]
- ・当方の関連事業所（グループホーム）では、コロナ以降、面会などの制限を行っているが、次第に緩和されてきたことから、家族との外食や職員とのドライブ外出など出来る様になり、利用者の表情がよくなってきたように感じている。そのことから、高齢者の皆様にとって気分転換の機会を重要であり、今後も所内だけではなく、外出など取り入れた日曜デイサービスを継続してほしいと思います。[知見有識者]
- ・この度、初めて来所させていただきました。民家を活用していることもあってか、アットホーム的雰囲気を感じました。[松江市]
- ・運営指導において、業務継続計画書を拝見する機会があるが、多くの事業所においては、ひな形を埋めただけといった状況であり、それぞれの事業所の状況に応じた、必要な計画書にはなっていない状況であるように思われます。[松江市]
- ・防災活動の取り組みを毎月実施していることはよいと思いました。[松江市]
- ・介護職は離職する人が多く、人材確保が難しいと感じています。これからは、現職員が辞めない、事業所は辞めさせない様な企業努力が必要だと思っています。[知見有識者]

<質問>

- Q：職員の資質向上の取り組みについて。2回/日のミーティングはよくあるが、3回/日とはどのようにしているか？ [知見有識者]

A：この、日3回の職員ミーティングが通所介護における個別支援の基本と位置づけ取り組んでいます。タイミングは朝（始業時）と昼（昼食後）と夕（送迎後）に約10分間程度のミーティングです。朝夕が基本であるが、それに補足する意味で昼にも行っている。各職員が朝から業務に当たっている中、送迎時や午前中の利用者の様子など共有する必要があり、この時間でのミーティングとしました。

- Q：防災活動はどの様に行っているか？ [松江市]

A：火災と地震の2つのテーマを毎月交互に話題を提供しています。それぞれ場所やテーマを設定して計画し、利用者と一緒に行って意見を聞いたり注意喚起をしています。防災意識を定着していただくことが狙いです。

- Q：総合事業とは何ですか？ [利用者家族]

A：「総合事業」とは、介護保険での通所介護事業とは区別されたサービスです。介護認定において、要支援1及び2に該当される方を対象にした松江市が設置する介護予防的な事業の総称を「総合事業」と言います。『健笑庵のぎ』においては、地域密着型通所介護事業と一体的に運営を行っています。そのため、サービス提供時間も含め活動の内容においても、全く違いはありません。同様に個別に必要な支援を事前の計画に基づいて提供しています。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○